

暑い館林で
熱い研修をしよう!



邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院

初期臨床研修プログラム

企業長ご挨拶



医師を育てる気概に溢れた 当院で医師への第一歩を

あらい まさし
企業長 新井 昌史

当院は群馬県の東、館林市を中心とした人口18万人の住民の医療を
あずかる地域で唯一の総合病院です。当院の守備範囲は広く、急性心
筋梗塞へのPCI、脳梗塞超急性期の血管内治療や癌治療などの救急・
急性期治療から、回復期リハビリや認知症診療まで多彩です。そして、
各科の専門医は自分の専門領域だけに留まることなく、総合医としての
働き方をしています。これら専門医は、各科の指導医として知識や技術
を教えてくれる存在であるだけでなく、皆さんが将来めざす医師の理想
のロールモデルになるのではないかと思います。

また、看護師、検査・レントゲン技師、薬剤師などのコメディカル、事務
職も医師1年目の皆さんの教育に非常に協力的で、若い医師を育てる
という意識を強く持っています。皆さんが、将来、各科の専門医療を極
めたい場合でも、また、プライマリーケア医をめざす場合でも、その基礎
となる初期臨床の研修の場所として最適の環境を提供できると自負して
います。

人も環境も整った当院で、ぜひ、医師としての第一歩を踏み出してくだ
さい。お待ちしております。

研修担当メッセージ

臨床医としての実力を 身につけてもらう為に

おかざき ひろし
研修プログラム責任者 岡崎 浩
(泌尿器科部長)

当院は、大病院ではありませんが、初期研修を行うにはちょうど良い、
小回りの利く規模の病院だと考えています。定員は6名で、近年ではフル
マッチが続いています。当院の研修プログラムは、研修医一人一人の
希望に添えるようにプログラムを組んでおります。

当院は、群馬県東毛地域の総合病院ですが、現在は小児科、産婦
人科、精神科については入院診療を扱っていないため、協力病院で研
修をする必要があります。この協力病院は県内だけでなく、栃木県や埼
玉県の数多くの病院と提携しているため、外病院研修期間中は、違う環
境の中で研修することとなります。当院だけで初期研修が完結しないこ
とは必ずしも不利益ではなく、病院によっていろいろな違いがあることを
知り、初期研修修了後の進路選択をする上で参考にもなります。

また、当院の特徴として、人間関係とチームワークの良さ、教育熱心
な指導医も挙げられますので、まずは病院見学や実習に来ていただき、
明るくアットホームな病院の雰囲気を感じていただきたいと思います。そ
して将来一緒に働ける日を心待ちにしております。



研修プログラム

必修科と当直業務で基本的診療能力を身につけ、 選択科で自分の将来を見据える

当院では、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身に着けるという臨床研修目標を重視しており、内科、外科、救急部門の研修を必修としています(小児科、産婦人科、精神科、地域医療研修については協力病院にて研修)。一方で、選択研修期間を十分に確保しプログラムの自由度を高くすることで、研修医1人1人の希望やレベルに応じた専門診療研修が可能です。また、本研修プログラムでは当直研修も重視しており、2年間を通して行われる当直でより実践的なトレーニングを積むことができます。

初期臨床研修プログラムスケジュール例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科（28週）							外科（8週）		救急（12週）		
	当直（月1～4回）											
2年次	必修4科・部門 （16週）				選択科（32週）							
	当直（月1～4回）											

※ 4月の初めはオリエンテーション研修を設けています(1年目)

※ 当直業務は研修医の希望や研修到達度にあわせて組んでいます。

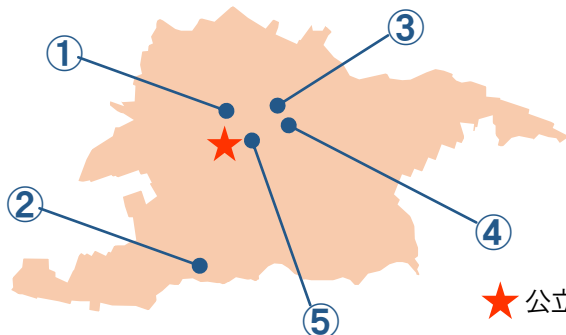
※ 必修4科・部門とは小児科、産婦人科、精神科、地域医療です。

※ 救急12週のうち4週までは麻酔科研修可能

協力病院・協力施設

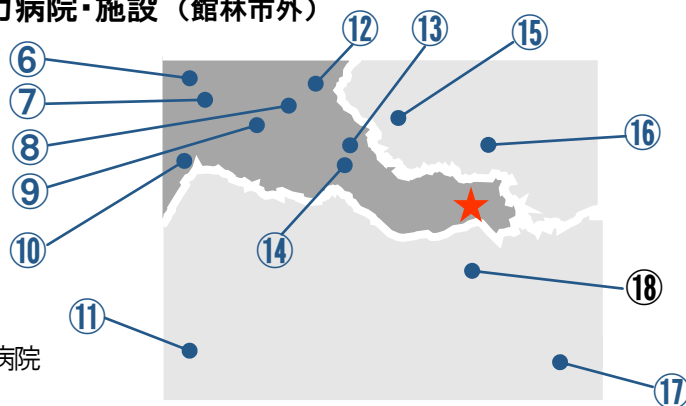
本研修プログラムの2年次の特徴として、地域医療・小児科・産婦人科・精神科を必修とする以外は自由選択としていることです。その期間を十分に確保しプログラムの自由度を高めています。院内診療科はもちろん、協力型病院・協力施設で研修が可能です。

協力病院・施設(館林市内)



- ① 川島脳神経外科医院(選択科)
- ② 新橋病院(地域医療)
- ③ 介護老人保健施設 すみれの里(保健・医療行政)
- ④ 館林記念病院(地域医療)
- ⑤ 群馬県館林保健所(保健・医療行政)
- ⑥ 群馬大学医学部附属病院(小児科、産婦人科、選択科)
- ⑦ 前橋赤十字病院(救急部門)
- ⑧ 群馬県立精神医療センター(精神科)
- ⑨ 伊勢崎市民病院(小児科、産婦人科)

協力病院・施設(館林市外)



- ⑩ 公立藤岡総合病院(小児科、産婦人科)
- ⑪ 秩父病院(地域医療)
- ⑫ 桐生厚生総合病院(小児科、産婦人科)
- ⑬ 三枚橋病院(精神科)
- ⑭ あい太田クリニック(地域医療)
- ⑮ 足利赤十字病院(小児科、産婦人科、選択科)
- ⑯ 佐野厚生総合病院(小児科、産婦人科、選択科)
- ⑰ 獨協医科大学埼玉医療センター(小児科、産婦人科)
- ⑱ 埼玉県済生会加須病院(小児科)

※ その他研修先:西吾妻福祉病院、原町赤十字病院、中里診療所、緩和ケア診療所・いづみなど

特徴

当院初期研修プログラムの5つの特徴

平成15年のマッチング開始以来、当院は継続的に研修医を受け入れてきました。この間、研修支援委員会が中心となって、研修医のニーズに十分対応できるよう、プログラムを絶えず洗練してきました。ここでは当院の初期研修プログラムの特徴をまとめてみました。

1

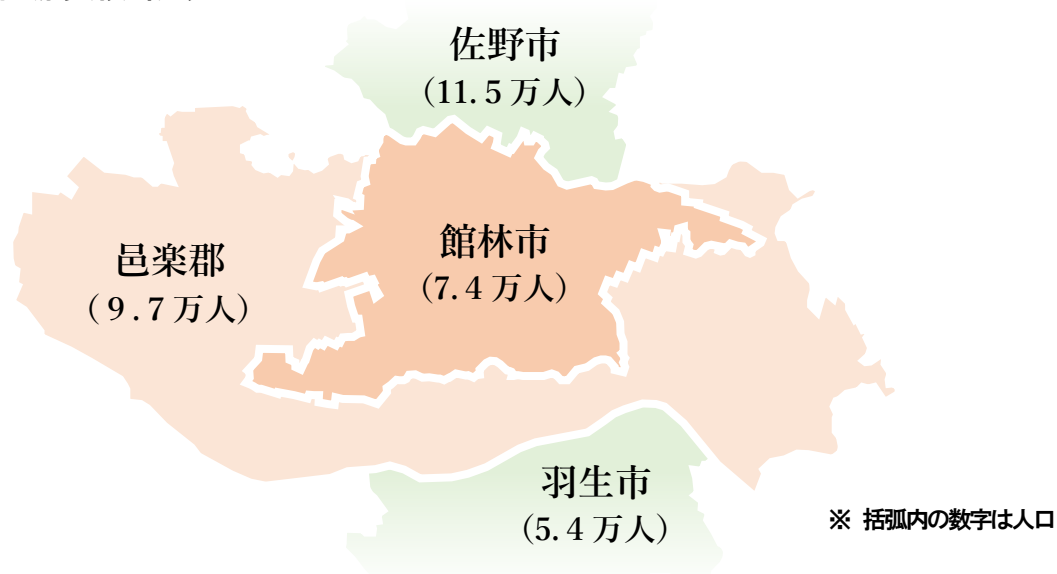
症例数



当院は館林市および邑楽郡(板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町)を主な診療圏とする、地域で唯一の総合医療機能を有する中核病院です。また隣接する佐野市(栃木県)、および羽生市(埼玉県)の患者も広く受け入れています。

救急医療についても、緊急手術など対応困難な場合を除き、原則「全例応需」とし、この圏域の救急患者の大半を一手に引き受けています。いわゆるcommon diseaseから重症の救急疾患まで多種多様な疾患の診療を経験できます。

当院の診療圏および診療実績(概数)



病床数

329 床

うち感染病床 6 床／高度急性期(HCU) 6 床

外来患者数

107,123 人

入院患者数

90,665 人

救急患者数

8,715 人

救急車搬送件数

4,121 件

手術件数

1,642 件

内視鏡検査件数

8,810 件

※ 歯科手術を除く

2

病院の雰囲気



当院は病床数が約330床の中規模病院です。この適度な規模が大規模病院とは異なる、アットホームで明るく、風通しのよい病院の雰囲気を生んでいます。まず各診療科の垣根が低く、電話一本で気軽に相談やコンサルができて連携がスムーズにとりやすい環境です。また学閥がないことも特徴です。看護師やメディカルなどスタッフも明るく、医師との関係も良好です。面倒見がよく親身にサポートするスタッフに囲まれ、安心して医療に取り組むことができます。

3

指導体制



各科の特性に沿った指導形態を確立しています。例えば内科では、研修医が患者の所見や自分の考えを指導医に述べ、助言を得て患者に対応します。一方外科では、チームの一員として意見や手技を共有し、一体感をもって成長できる環境です。いずれの科においても指導医とのマンツーマン体制を基本としています。また初期研修医が上級医を評価するBest Teacher Awardを実施し、指導医の質向上にも取り組んでいます。院内では各種の勉強会や研修会もあり、病院横断的なもの(カンサーボード、JCLSコースなど)、各科独自のもの(心電図勉強会など)があるほか、学会や研究会への参加も積極的に促し、その必要費用を支給しています。

4

プログラムの自由度



当院の初期研修プログラムは前半の必修科においては実際の医療現場において手技や基礎知識を幅広く吸収しながら、後半の選択科においては自身の将来のキャリアにつながるよう自主性を重んじて、各自の希望に沿って選択科やその期間を自由に組み合わせ出来ることが大きな特徴です。選択科には前半の必修科を含めて院内の全診療科を選択できるほか、協力病院・施設群からも選択可能です。また院外研修の際にも当院所属として、手続の煩わしさを極力除いて研修に専念できるよう事務部が全面的にバックアップしています。

5

福利厚生と処遇



リニューアルされた研修医室には専用机とインターネット環境が整備され、室内には懇談スペースも備えています。隣接する図書室には図書司書が常駐し、また24時間使用可能です。院内にはさまざまなサークル活動があり(ハレー部、野球部、フットサル部、マラソン部、バドミントン部、ゴルフ部、釣り部、華道部など)、また職種を超えた交流も盛んで、全職員が参加する行事が年間を通して開催されています(新入職者歓迎会、定年退職者送別会、イカ釣りツアー、ディズニーランドバスツアー、ゴルフ大会、体育部主催スキーバスツアー、文化部主催ツアーなど)。待遇が良いのも当院の特徴です。

各科紹介

総合内科 循環器内科

- 病歴、身体所見、検査結果を総合して診療計画を立案し実行できる
- 複雑な臨床的問題点に対して、文献的調査などを通じて解決できる
- 総合内科・循環器救急疾患に対して適切な初期対応ができる



医療部長 清水 岳久

循環器内科では心臓の救急疾患として急性冠症候群、急性心不全、不整脈発作、大動脈解離、急性肺血栓塞栓症などの救急対応を行うほか、日常診療では虚血性心疾患、弁膜症、慢性心不全、不整脈、心膜心筋疾患、末梢動脈疾患、肺高血圧症など幅広く循環器疾患を診療しています。また総合内科としては糖尿病やアレルギー疾患などcommon diseaseはもちろん、当院が地域の中核病院であるという性質上、壊血病や脚気など栄養疾患、肺結核や赤痢アメーバ症(非感染性)などの感染症、といった滅多にない稀少疾患を診療する機会も多くあります。高齢化に伴い複数の疾患を抱える患者が増えた昨今、当院の内科初期研修は6カ月一貫して領域横断的に診療して総合内科的なスキルを培うことを目標としており、循環器疾患以外の疾患もバランスよく経験していただきます。

呼吸器内科

- common diseaseから希少疾患まで幅広い疾患を学ぶ
- 内科診療の醍醐味(問診から治療までの一連の流れ)を学ぶ
- 他科との定期的なカンファランス、他職種らとのチーム医療を学ぶ



診療科部長 松崎 晋一

当院呼吸器内科の特徴の一つは良性、悪性を問わず、幅広い疾患に対応しているという点が挙げられます。良性疾患は、間質性肺炎や過敏性肺臓炎などのびまん性肺疾患、喘息・慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器感染症と分類されますが、日常的によく遭遇するいわゆるcommon diseaseから希少疾患に至るまで非常に多くの疾患を経験することができます。悪性疾患は肺癌が中心となりますが、まれに悪性胸膜中皮腫や悪性リンパ腫なども見受けられます。初期研修では、詳細な問診、診察、各種検査を通して、鑑別診断を立て、確定診断を行った後に適切な治療を施すという一連の作業を通して内科診療に必須の知識、診療技術を学ぶことができます。呼吸器内科における主な手技は気管支鏡検査となり、基本的には指導医が行いますが、初期研修の段階でも、助手として検査に携わったり、余裕があれば、カメラ自体を実際に握って、気管支鏡検査の概略を学ぶこともできます。

血液・腫瘍内科

- 血算の解釈、血球数異常の鑑別診断をあげ、適切な治療ができる
- 輸血療法の必要性和限界を理解し、適正な使用を推進するとともに副作用出現時に適切に対処できる
- 日々進歩する化学療法の特性を理解し、さまざまな臓器障害をとともう患者においても適切に使用できる



診療科部長 朝井 洋晶

血液・腫瘍内科では、白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群など造血器腫瘍から、再生不良性貧血や免疫原性血小板減少症、血友病などの血液疾患まで、幅広く診断と治療を行っています。

日々進歩する新規薬剤の薬学的特性に合わせた使い分けや、高齢化する地域の人口構成・疾病構造に必需した、診断・治療から介護への切れ目のない連携性構築も強く求められるところです。

社会的背景の中で医学的に正当な病態理解に基づいて診断を行い、安全安心な治療を提供すること、これを可能とする骨太な知識と手技の習得を目標としています。

消化器内科

- common diseaseの初期治療や専門的治療を学ぶ
- 消化管出血の原因疾患の診断と治療を学ぶ
- 上級医の指導の元で上部消化管内視鏡ができる



診療科部長 有賀 諭生

当院の消化器内科は、内視鏡内科ならびに外科との協力体制の元、消化管疾患、肝胆膵疾患など、消化器疾患全般を対象として診療を行っています。通常の上下部内視鏡検査だけでなく、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)などの内視鏡治療、内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)や超音波内視鏡検査(EUS)といった胆膵領域の内視鏡検査・治療、経皮的肝生検や経皮経肝胆道ドレナージといったエコー下穿刺治療など、消化器領域の幅広い検査・治療を施行しています(血管造影下治療は施行していません)。消化管出血や胆道感染など、緊急性の高い症例も多く、common diseaseの初期治療及び上述のような専門的治療を研修することが可能です。特に消化器内科を志望する場合は、上級医の指導の元で上部消化管内視鏡(EGD)から研修を行い、習熟度に応じて大腸内視鏡、治療内視鏡までトライしてもらいたいと考えています。

外科

- 外科の代表的疾患を理解する
- カンファレンスで術前・術後患者のプレゼンテーションができる
- 手術に参加し、その助手を行うことができる
- 外科救急疾患に対して適切な初期対応ができる



副院長 堤 裕史

外科では消化器疾患(胃、大腸、肝・胆・膵疾患など)、乳腺疾患を扱っています。ヘルニアなどの良性疾患に加え、消化器癌などの悪性疾患については手術(腹腔鏡下手術を含む)以外にも抗癌剤治療や放射線治療を含めた集学的治療や緩和ケアを行っています。研修医にはまず担当する患者の疾患や状態を十分に理解し、術前および術後のカンファレンスでプレゼンテーションができるようになってもらいます。そして実際の手術では助手に入ってもらい、特に虫垂炎などの比較的難度が低い手術の場合には第一助手を行ってもらいます。また、外科救急では急性虫垂炎、急性胆嚢炎、急性膵炎、絞扼性腸閉塞、消化管穿孔(胃・十二指腸・小腸、大腸)などを主に診療しています。なお2年次の選択科としては中難度手術の第一助手や低難度の消化器手術を執刀してもらいます。

麻酔科

- 麻酔、集中治療、救急医療に関する基本手技ができる
- 術中の適切な気道管理と循環管理ができる
- 多発外傷、薬物中毒、熱傷の診療では中心的役割が果たせる



診療科部長 関 慎二郎

麻酔科の診療分野は、手術麻酔管理を主軸に周術期全般の全身管理、集中治療、ペインクリニック、緩和医療など多岐にわたります。1年次ではこのうち手術麻酔について、その流れと術前診察から始まる手術麻酔を理解し経験してもらいます。また橈骨動脈確保、喉頭鏡を用いた気管挿管、腰椎穿刺など各種基本手技の習得、挿管・抜管の適応、レスピレータの基本操作、患者監視装置(モニター心電図、カブノメータなど)の評価法、周術期の輸液管理など全身管理の基本も学んでもらいます。2年次の選択科としては全身管理の理解をさらに深めてもらい、特殊な手術麻酔やICUでの集中治療管理については群馬大学病院で研修することも可能です。短い研修期間ではありますが、将来何れの診療科を専攻した場合でも十分役立つ知識と技術が身につきます。麻酔科に興味ある方にはキャリアの相談も随時受けています。

救急科

- 重症度・緊急度を判断し臨床推論に基づく診療ができる
- 頻度の高い症候・疾患の病態を理解し一般的な診療ができる
- 重症患者に対してチームとして診療に参加できる



診療科医長 宮脇 和宏

当院は二次救急病院でありながら、館林・邑楽地域の中核病院であり、診療する症例は軽症から重症まで幅広いです。頻度の高い、めまい、失神、頭痛、胸痛、腹痛、腰背部痛、呼吸苦、外傷などから、心肺停止や各種ショックなど重症症例の受け入れも行っています。緊急のIVRや内視鏡、手術室での処置を要する症例の初期診療も行い、時には県外からも患者さんが搬送されてきます。

実際の救急科研修では、2～3ヶ月のローテーションで頻度の高い症候・疾患の診療や、緊急度・重症度が高い疾患の初期対応を共に行い学ぶことを目標としています。2年次の選択科の際はより主体的となって診療を行い、重症患者にも積極的に対応します。また、患者背景やその後の生活のことも考慮して病気以外の側面もケアできる診療を目指します。

救急外来での診療の他にも、院内でBLS、ICLSなどの講習会、メディカルコントロール協議会・症例検討会、災害医療訓練などへの参加を通して、他職種の方々と共に研鑽を積んでいきます。

脳神経外科

- 脳卒中の病型診断と治療方針が分かる
- 意識障害の評価、神経所見の取り方、および病巣診断ができる
- 慢性硬膜下血腫を執刀し、脳神経外科手術と検査の助手ができる



院長 松本 正弘

当科では脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、てんかんなどを主に診療し、脳卒中については開頭手術のほか血管内手術も積極的に行っています。チーム医療を行っているため、2年次の選択の際には、当科入院患者のすべてに対して担当医の一人として指導医のもと診療してもらっています。特に多い脳卒中については病型診断、急性期～病状安定期までの診療方針の概要を理解し、脳卒中ガイドラインやISLS (Immediate Stroke Life Support) に則った初療を行い、手術や脳血管造影など侵襲的手技以外のマネジメントができるようにします。またCT、MRI、脳血流シンチグラフィ、脳血管造影など脳脊髄の画像診断や脳波など生理機能検査についても学び、カンファレンスを通じて理解を深めます。手技としては中心静脈ルートの確保や腰椎穿刺のほか、脳梗塞に対するt-PA静注療法や慢性硬膜下血腫手術の施行、脳血管造影、開頭手術、脳血管内手術の助手など行います。脳神経外科救急疾患については意識障害の評価法(JCS、GCSなど)、神経所見の取り方、および病巣診断、脳卒中スケール(NHSS)などを実践することを目標として指導医のもと診療しますが、より適切な救急診療のためICLS、ISLS、PSLSといった脳卒中初療の研修コースに参加を勧めています。

呼吸器外科

- 呼吸器外科の代表的疾患を理解する
- 手術に参加し、その助手を行うことができる
- 呼吸器外科救急疾患に対して適切な初期対応ができる



診療科部長 野内 達人

呼吸器外科は呼吸器・縦隔疾患を扱います。外科研修の中で呼吸器外科研修を行っています。一般外科として消化器外科も併行で行いながらになります。気胸や膿胸などの炎症性疾患、肺癌などの悪性疾患、胸部外傷が主な対象疾患になります。手術はもちろんのことですが、術後再発に対する抗がん剤治療や放射線治療を含めた集学的治療や緩和ケアも行っています。研修医には手術に助手として入ってもらい、気胸などの比較的難易度の低い手術では第一助手を行ってもらいます。また救急では気胸や胸部外傷などを主に診療しています。2年次では胸腔ドレナージなどの侵襲的手技を経験してもらいます。

泌尿器科



診療科部長 岡崎 浩

- 泌尿器科疾患を理解する
- 頻度の高い排尿障害に対する初期対応能力を獲得する
- 泌尿器科独自の手術手技である経尿道的な手技を理解し経験する
- 透析療法(血液透析・腹膜透析)を理解し実践する

当科は、副腎・腎・尿管・膀胱・前立腺・陰茎・精巣等の小児から成人に至る様々な腎・泌尿器疾患(上部尿路通過障害、排尿障害、尿路性器悪性腫瘍、尿路結石、慢性腎疾患など)を扱い、外科的及び内科的に対応しています。当科では、小児・女性泌尿器科疾患に対する手術的治療や腎移植等の特殊な疾患以外ほぼ全ての泌尿器科疾患を経験できます。2年次の選択科としては、短期の研修(1カ月程度)では、上級医について上記疾患の理解および排尿障害に対する対応能力及び確実な尿道留置技術を獲得してもらいます。また中期の研修(2〜3カ月程度)では、これらに加えて手術も含め簡単な経尿道的操作や開放手術手技の経験、透析療法(血液透析・腹膜透析)、外来初期対応などの経験をしてもらいます。

耳鼻咽喉科



診療科部長 高安 幸弘

- 耳・鼻・咽喉頭の観察ができ、局所所見が取れる
- 耳鼻咽喉科に特有な検査(聴力・前庭系検査、画像等)を解釈できる
- 耳鼻咽喉科の手術の助手ができる

当科では、人工内耳や難治性音声障害など特殊な疾患を除いて耳鼻咽喉疾患を幅広く診察しており、具体的には中耳炎(急性・慢性)、難聴・耳鳴、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃炎、声帯ポリープ、いびき、無呼吸症候群、めまい(Meniere病、良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎、突発性難聴、椎骨脳底動脈循環不全症など)、顔面神経麻痺、唾液腺疾患、及び喉頭癌など頭頸部悪性腫瘍の診察をしています。悪性腫瘍に対しては、初期のものでは基本的に放射線療法、進行癌では手術・放射線・抗がん剤を併用した集学的治療を行っています。また地域の中核病院ということもあり救急疾患も多く集まります。当科は若い先生が多く、初期研修においては一緒に楽しく研修に励みながら、耳鼻咽喉科のプライマリケアを習得してもらえるように配慮しています。

放射線治療科



診療科部長 青木 徹哉

- 放射線治療に関する基礎的知識を習得する
- がんの集学的治療、および各種がんの標準治療について理解する
- 代表的な疾患について、指導医の下で放射線治療計画が立案できる
- 診療放射線技師や看護師に適切な指示が行える

放射線治療は、手術・薬物療法と並んで癌治療の三本柱の1つであり、臓器の機能や形態を温存しつつ癌の根治を目指せる治療法です。当科では、各種悪性腫瘍に対しニアックを用いた体外照射、および放射性同位元素を用いたRi内用療法を行っています。当院では一般的な外照射に加えて強度変調放射線治療(MRT)や画像誘導放射線治療(IGRT)を初めとする高精度放射線治療を施行しています。当院に設備のない密封小線源治療(RALS)や粒子線治療については他院に依頼しています。

当科の研修では、放射線生物学の基礎的な知識、がんの画像診断、がんの標準治療の理解に基づく治療方針の立案などのスキルを始め、治療計画装置を用いた放射線治療計画の作成、カンファレンスを通じた集学的治療の理解、看護師や診療放射線技師を含めた多職種によるチーム医療の実践等について、指導医の下で経験を積んで頂きます。また将来の志望科(放射線治療科、癌診療に関わる他科、その他)に応じて内容にメリハリをつけることも可能です。

病院について

病院機能評価認定を受けた、地域随一の中核病院

1964年10月に地域唯一の公的総合病院として開設以来、救急診療や急性・慢性疾患の治療、予防医療において地域の中核的な役割を果たしてきました。2015年3月には地下1階、地上8階の免震構造を備えた新病棟に移行し、同時に高度医療や急性期医療を支える最新の医療機器の導入を積極的に行うなどさらなる発展を遂げています。2018年7月には患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織経営などが評価され、公益財団法人日本医療機能評価機構より病院機能評価の認定を受けました。



病院北側玄関



総合待合ホール



日本医療機能評価機構認定 第JC2277号
(機能種別版評価項目3rdGVer1.1)

建物配置図と医療設備

本棟

			機械室
		8F	
		7F	西 7 階病棟
		6F	西 6 階病棟（地域包括ケアセンター）
		5F	西 5 階病棟
		4F	西 4 階病棟／HCU
		3F	講堂／会議室
3F	R I 体外計測室		
2F	予防医学 センター	2F	外来／血液浄化センター／中央点滴室 採血採尿室／生理検査室／化学療法室
1F	結石破碎治療室 MR I 室	1F	総合受付／外来／中央放射線室 内視鏡室／救急センター／事務室
B1	リニアック治療室	B1	リネ室

東診療棟

	管理棟	3F	回復期 リハビリ病棟
2F	事務室 医局／図書室	2F	中央手術室
1F	レストラン／コンビニ ベーカリー&カフェ	1F	リハビリ テーション科



手術室



CT·MRI室



血管造影室



內視鏡室

主な医療設備:ダヴィンチ(daVinci)、リニアック、強度変調回転放射線治療システム、MRI(2台)、血管造影装置、CT(2台)、SPECT、マンモグラフィ、X線撮影装置、体外式衝撃波結石破砕装置、X線骨密度測定装置、経皮の心肺補助システム、大動脈バルーンパンピング駆動装置、超音波画像診断装置、電子内視鏡システム、持続血液浄化装置、人工透析装置、高気圧酸素治療装置、血液ガス分析装置、研究用顕微鏡、全自動細菌検査システム、全自動血液培養・抗酸菌培養システム、全自動遺伝子検査装置、気管支ビデオスコープ、上部消化管ビデオスコープ、大腸ビデオスコープ、超音波内視鏡装置、麻酔管理システム、人工呼吸器、高・低体温維持装置、ビデオ鼻咽喉頭スコープシステム、ヤグレーザー手術装置、その他多数



TM21プラザ(提携マンション)について

医師宿舎として、病院と館林駅から徒歩圏内のマンションと提携しています。キッチンや全自動洗濯乾燥機など生活用具が備え付けられたコンドミニアム型のマンションで、カバンひとつで着いたその日から暮らせます。またオートロックとフロントチェックによる安全性はもちろんのこと、コンシェルジュサービス(クリーニング、定期室内清掃など)と居住者専用のスパ、フィットネスジム、レストランなどを備えた利便性も高い施設です。

※そのほかにも指定業者による住宅斡旋制度があります(住居手当あり)

館林市について

豊かな自然、伝統の食文化、由緒ある歴史の街

館林市は、「鶴舞う形」といわれる群馬県の東南部、ちょうど鶴の頭の部分にあたります。北に渡良瀬川、南に利根川と大きな河川が流れ、城沼、多々良沼など多くの池沼が点在するなど、豊かな水資源と自然環境に恵まれ、多様な動植物の生息地となっています。このような環境のもと農業や淡水漁業が盛んであり、川魚文化、麺食文化という伝統が根付いています。また江戸時代には徳川四天王として知られる榊原康政や、後に第五代将軍となる徳川綱吉が治めるなど、幕府の重要な拠点でした。関東地方のほぼ中央に位置していることより、東京をはじめとして各地へのアクセスも便利です。



ぽんちゃん
(館林市の観光マスコット)



つつじまつり(つつじが岡公園(4~5月))



こいのぼりの里まつり(鶴生田川・近藤沼(3~5月))



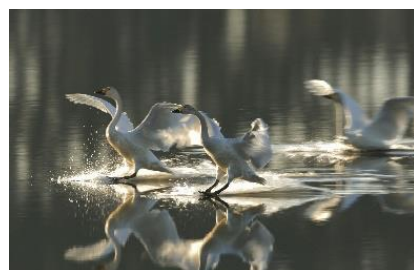
花ハスまつり(城沼(7~8月))



館林まつり(本町通り(7月))



キャンドルロード(茂林寺(年末年始))



シベリアから飛来する白鳥(多々良沼(冬季))

館林から各地へのアクセス

※ 所要時間はGoogleマップの通常所要時間に基づいています。

館林駅	東武伊勢崎線 + JR東北本線 / 約45分	大宮駅
	東武伊勢崎線 + JR東北本線 (湘南新宿ライン) / 約80分	新宿駅
	東武伊勢崎線 (特急) / 約60分	浅草駅
	東武伊勢崎線 (特急) / 約50分	東京駅
市役所前	北千住駅	
	JR常磐線 / 約15分	
館林IC	空港バス / 約45分	羽田空港
	エアポートリムジン / 約110分	
	東北・首都圏中央連絡自動車道 / 約90分	成田空港
	東北自動車道 / 約35分	宇都宮IC
	東北・北関東・常磐自動車道 / 約75分	水戸IC
	東北・北関東自動車道 / 約45分	前橋南IC
	東北・首都圏中央連絡自動車道 / 約45分	つくば中央IC
	東北自動車道 / 約25分	浦和IC

募集要項

初期臨床研修医

■ 応募資格	医師国家試験合格見込の方 免許取得後2年以内の方
■ 募集人員	6名
■ 採用方法	小論文・面接
■ 身分	初期臨床研修医
■ 給与 (研修手当)	賃金月額 一年次: 450,000円 二年次: 470,000円 賞与年額 一年次: 900,000円 二年次: 940,000円 当直手当 一年次: 20,000円 / 回 二年次: 40,000円 / 回 時間外勤務手当 別途支給 通勤・住宅手当 別途支給 月1~4回程度 有給休暇 一年次10日 / 二年次20日 特別休暇 夏季特別休暇(3日) 年末年始特別休暇(6日) その他休暇等 病院職員規定に則る あり(一部本人負担あり) 館林駅前 高層マンション(40,000円 / 月程度) 病院近辺 5,000円 / 月程度~ あり(専用机、ロッカー設置、インターネット環境あり) あり(24時間利用可能。蔵書数: 医学書中心に約3万冊、 定期購読誌数: 約100誌。医中誌、Medical Online、 Dyna Med、今日の臨床サポート利用可能) 健康保険・労災保険・厚生年金等の社会保険に加入 施設において加入(個人での加入は任意)
■ 当直	
■ 休暇	
■ 宿舍	
■ 研修室	
■ 図書室	
■ 社会保険	
■ 医賠償保険 (医師賠償責任)	

修学資金貸与生

■ 貸与対象者	将来、公立館林厚生病院に医師として勤務する意欲のある者で、以下の各号のいずれかに該当する者。 ①医科大学／大学院において医学を履修する課程に在学する学生。 ②大学で医学を履修する課程を修了し、医師資格を取得しようとする者。
■ 募集人員	若干名
■ 貸与額	月額 150,000円 (年額 1,800,000円)
■ 貸与期間	1年以上4年以内。期間は各号で下記の通り定める。 ①については在学期間(対象は3~6学年) ②については1年間
■ 返還免除条件	公立館林厚生病院に勤務した期間が、修学資金の貸与を受けた期間に達したとき、全額を免除します。

※ 募集要項(初期臨床研修医、修学資金貸与)の詳細につきましては当院ホームページをご参照下さい。

病院概要

■ 病院長
松本 正弘

■ 病床数
329床(一般病床 323床、感染病床 6床)

■ 診療科目
内科、精神科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、血液・腫瘍内科、消化器内科、内視鏡内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、歯科、歯科口腔外科(以上29科)

■ 指定医療
保険医療機関
国保療養指定
労災保険指定
生活保護法指定
第二種感染症指定医療機関
結核指定医療機関
身体障害者福祉医療指定
指定自立支援医療機関(更生医療・精神通院医療)
原爆被爆者一般疾患医療機関指定
指定難病指定医療機関(医科・歯科)
救急告示病院
短期人間ドック
臨床研修指定病院
群馬県エイズ診療協力病院
指定小児慢性特定疾病医療機関(医科・歯科)
群馬がん診療連携推進病院
災害拠点病院(地域災害医療センター)
地域医療支援病院
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
診療・検査医療機関

■ 研修指定
日本内科学会専門研修連携施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度連携施設
日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設(拠点教育施設)
呼吸器外科専門医合同委員会修練施設(関連施設)
日本耳鼻咽喉科学会認可専門医研修施設
日本気管食道学会認定気管食道科専門医研修施設(咽喉系)
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本障害者歯科学会臨床経験施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本病理学会研修登録施設
日本臨床細胞学会認定施設
認定臨床微生物検査技師制度協議会認定臨床微生物検査技師制度研修施設
日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士認定教育施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関(放射線治療)
日本透析医学会専門医制度教育関連施設
日本血液学会専門医研修教育施設
日本消化器内視鏡学会専門医指導連携施設
日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本消化器病学会認定施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設

見学と実習に来てください！

当院は病院を少しでも知っていただくために病院見学と実習を受け付けています。ぜひ！病院の雰囲気を感じてみませんか？
日時、内容(希望科等)についてはご要望に応じて調整いたします。
※ 医学生であれば学年を問いません。

住所 〒374-8533
群馬県館林市成島町262-1
公立館林厚生病院 医師確保支援係
電話番号/FAX 0276-72-3140 / 0276-72-5445
メール ishi-kakuho@tatebayashikoseibyoin.jp
HPアドレス <http://www.tatebayashikoseibyoin.jp>
Facebookアドレス <https://www.facebook.com/tatekosei/>



LINE(医師確保支援係)

